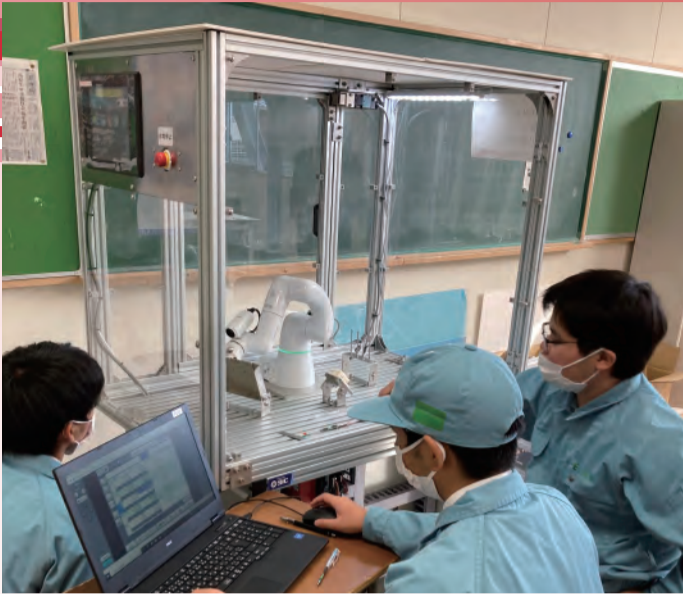


高校生ロボットSIリーグ

動かすのは、きみの未来だ。



高校生がモノづくり現場の自動化を担うロボットシステムインテグレータ（ロボットSier）の仕事を体験しながら、ロボットシステム構築の課題に取り組む競技会を愛知県が2022年から開催します。

参加チームはロボットSier企業やロボットメーカーのサポートを受けながら、約8カ月間かけてロボットシステムの構築に取り組み、その成果をイベントで披露します。

この競技会を通してロボットSier人材の創出を目指しています。

ロボットシステムインテグレータって？

工場等のモノづくり現場では、人手不足や新型コロナウイルス感染症の影響により、自動化や省人化が求められています。

モノづくり現場を自動化するには、産業用ロボットを活用し、

製品の加工条件や
現場環境の把握

最適な
作業工程の設計

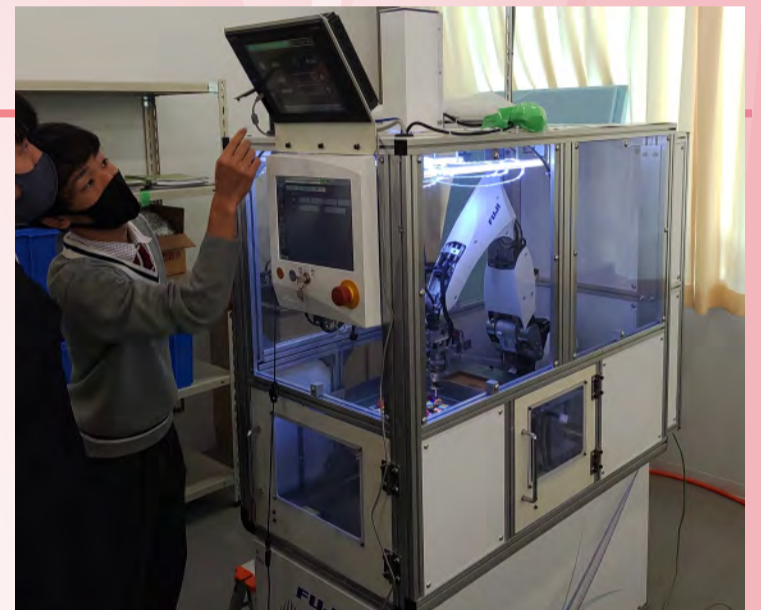
最適な機械や
部品の調達・製作

ロボットや装置の動きを
制御するプログラミング

などを行った上で、

現場にあわせた最適なロボットシステムとして設置します。

こうした多くのことを行い、モノづくりを支えるエキスパートな職種を**ロボットシステムインテグレータ**「通称:ロボットSier(エスアイアー)」と言います。



なぜ愛知県が…？

愛知県は、自動車製造業をはじめとする日本一のモノづくり県であり、ロボット製造業やロボットSier企業についても国内有数の集積地です。

モノづくり現場だけでなく、ロボットSier業界においても慢性的な人材不足に陥っており、新しい人材の確保は喫緊の課題となっています。

そこで愛知県では、今後も本県や我が国のモノづくりを支えていくために、独自に企画した「高校生ロボットSIリーグ」を2022年から開催します！

高校生ロボットSIリーグの推進体制

- ▶主催 愛知県
- ▶共催 未来ロボティクスエンジニア育成協議会
- ▶協力 株式会社デンソーウェーブ、株式会社FUJI、三菱電機株式会社
IDECファクトリーソリューションズ株式会社、SMC株式会社、オムロン株式会社
- ▶特別協力 FA・ロボットシステムインテグレータ協会
- ▶運営 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会実行委員会

動かすのは、きみの未来だ。



SI.LEAGUE

高校生ロボットSIリーグ

何をするの？

高校でチーム(10名以内)を編成し、愛知県内のロボットメーカーの産業用ロボットを用いて、それぞれの競技課題であるモノづくりを自動化するロボットシステムの構築を目指します。

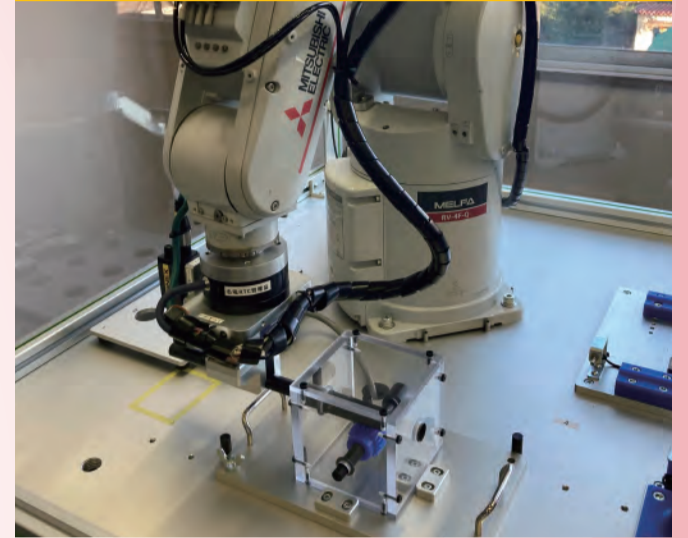
デンソーウェーブ部門
ボールペン組み立て



FUJI部門
お菓子の箱詰め



三菱電機部門
ギア部品組み立て



高校での課題研究の授業や部活動で取り組んでいただくことを想定し、約8ヶ月間かけて講習や実習を行った上で競技課題に取り組み、12月にAichi Sky Expoで成果を披露していただきます。

キックオフ講習会
(1日[土曜日])



共通講習
(3時間×5回)



基礎課題講習
(3時間×5回程度)



Sler企業見学会
(1日[夏休み])



シミュレーション講習会
(1日[夏休み])



応用課題講習
(3時間×10回程度)



高校やチームの負担は？

ロボット技術についての少しの知識と、チームメンバーや先生のやる気があればOK!

- ▶ 産業用ロボット等を4月頃から2月頃まで無料でお貸しします。(貸借契約等の手続要)
- ▶ ロボットSler企業が「サポーター企業」となり、随時指導や助言を行います。
- ▶ 高校や成果披露会場へのロボットシステムの搬入出・設置をサポーター企業が行います。
- ▶ チームの取組に必要な購入費(ワークや部品、原材料等)や交通費等を支援します。
- ▶ 次年度大会への参加を目指す教員向けの講習会を8月に開催します。

参加するにはどうするの？

第1回大会の参加チーム校を2022年2月に全国から募集し、3月中に選定する予定です。
(各ロボット部門3チーム程度で合計9チーム程度を選定予定)

なお、本事業予算が令和4年2月定例愛知県議会で議決されることを前提としています。

動かすのは、きみの未来だ。



問い合わせ先

愛知県経済産業局産業部産業振興課ロボット国際大会推進室
企画・調整グループ 都筑・石原・平出
電話：052-954-6698 E-mail：robotconv@pref.aichi.lg.jp